

『緑の風』編集委員 東京工科大学准教授 神子島 健

# 多摩地域における韓国・朝鮮人と中国人の人口

今回は特集に合わせて、多摩地域の韓国・朝鮮人の人口と、比較の意味も含めて中国人の人口を紹介します。表1では2005年と2015年の国勢調査から、韓国・朝鮮人と中国人の人口、人口の変化と、全人口に占める外国人の割合を、多摩30市町村について示したものです。表2、3は、その中で特に割合の高い市町村を抜粋して紹介しました。また、参考として表4で、日本全国の長期的な韓国・朝鮮人と中国人の人口の変化を掲載しています。

データ多摩「番外編01」(『緑の風』vol. 220掲載)には、「1930年国勢調査に見る多摩地域の朝鮮人」も掲載されていますので、そちらも参考にしてください。

### 定義について

国籍の扱いというのは単なる事務的な手続きと考えられるかもしれません。しかしとりわけ、朝鮮半島と中国に関しては、かつての植民地支配(朝鮮と台湾)や東アジアに今日も残る冷戦的状況の影響が、「事務処理」にも色濃く残っています。

「韓国・朝鮮」籍:まず、日本と国交のある大韓民国の国籍を持っている人というのは、わかりやすいと思います。ややこしいのは「朝鮮」籍です。これは朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)の国籍を持っている人を意味しません。日本と国交がないため、法律上、「北朝鮮人は日本にいない」という論理になってしまうのです。

ところが、そもそも日本が朝鮮半島を植民 地支配していたため、大韓民国も朝鮮民主主 義人民共和国もない時代から、朝鮮半島出身者とその子孫が、日本にたくさんいたわけです。1940年までの国勢調査では、「外国人」でなく「外地人」という位置づけです(台湾人、樺太人も同じ、「番外編01」参照)。よって、南北両国ができる前の国勢調査では、朝鮮半島出身者は朝鮮人、つまり「朝鮮」籍となっています。

1952年、GHQによる日本占領が終わり、それに合わせて旧植民地出身者が、本人の意思と無関係に日本から切り離されました。1955年の国勢調査から、韓国籍を取得した人は「韓国」籍として記載されるようになり、それ以外の人は「朝鮮」籍のままとなっています。

また、この国籍問題と絡んで、近代日本では朝鮮人に対する差別が、フォーマルにも(国籍や本籍を通した公的な差別)、インフォーマルにも(地域などでの生活の中での差別)根強く存在し、今も決してなくなっていないという問題があります。このようなデータを考える際に、この点を忘れてはなりません。

ちなみに、このあたりの背景について、手 に入れやすい参考文献として

田中宏『在日外国人 第三版:法の壁、心の壁』岩波新書、2013年

水野直樹、文京洙『在日朝鮮人:歴史と現 在』岩波新書、2015年

を挙げておきます。

「中国」籍: 1972年、日本は中華人民共和国と国交を樹立。それまで国交のあった中華民国(台湾)とは国交がなくなりました。中国大陸と台湾は「一つの中国」のもとにあ

るという原則が反映されています。そのため、ここでいう中国人には、日本の植民地だった 台湾の方やその子孫も含まれています。さら には、中華人民共和国成立前の中国大陸出身 で、いわゆる「華僑」として日本にやってき た人とその子孫、つまり(その後成立した) 中華人民共和国の国籍もないが、台湾に住ん だこともない(ただし中華民国の国籍はある) ような人も含まれています。

#### データについて

表4:日本では、国勢調査を始めて以来、外国人人口の圧倒的多数(※)を朝鮮半島出身者が占めてきました(※用語で説明したとおり、かつては「外地人」だったので、外国人ではありませんでしたが)。それが、2010年の国勢調査で初めて、中国人人口が韓国・朝鮮人人口を上まわりました。

韓国・朝鮮人人口は、1985年をピークに減少局面に入っています。長期にわたり日本社会に定着してきた在日のコミュニティでは、他の外国籍に比べて日本社会全体と同じく少子高齢化が進んでいることが理由のひとつに挙げられます。また、在日の方にとって、帰化手続き等のハードルが下がったことで、日本国籍を取る人が増えたこともあります。ただし就職等による差別などがあるからこそ帰化せざるを得ない現実も考えておく必要があります。

在日本大韓民国民団(在日の韓国人の生活者団体)のホームページによれば、1952-2016年の間に帰化した人は韓国籍・朝鮮籍あわせて365,955人。特に90年代以降増えています。

高齢化に加え、若い世代の帰化が進んだ結果、在日韓国・朝鮮人人口の中で、15歳未満の占める割合は5.8%にまで下がっています。少子高齢化の進んだ日本全体でも12.7%ですから、年少人口が非常に少ないことがわかり

ます。

「在日」の人のほかに、韓国生まれの人が 仕事や留学のために来日した「ニューカマー」 もかなりの数がいますが、「韓国・朝鮮」籍 全体としては減っているわけです。そして急 速な勢いで、仕事や留学などで日本に来る中 国人が増えている、と言えます。

**表1、2、3**について:三多摩地域の様子を 見てみましょう。

小平市に韓国・朝鮮人が集中しているのは、 朝鮮大学校があるからです。在日の方が多い と考えられます。とはいえその小平を除けば、 韓国・朝鮮人人口の割合が顕著に高い市町村 は特にありません。対して、西多摩地域は割 合が低い市町村が多くなっています。

ちなみにその小平市で、韓国・朝鮮人が人口に占める割合で0.75%。23区全体で0.67%、在日の大きなコミュニティのある荒川区は2.81%ですから、そう考えるとさほど高いわけではありません。

この10年で韓国・朝鮮人人口が100名以上 増えたのが、三鷹、武蔵野、西東京です。都 心に近く、とりわけ、「コリアンタウン」と して有名になった大久保へのアクセスがいい ことなどもあり、ニューカマーが増えたと考 えられます。

一般的に、外国から移住してくる人は、すでに来た同国人(とりわけ、同郷人)がやってきたルートをたどり、同国人同士で集住して助けあうため、特定の地域に集中する傾向があります。情報、就職のあっせん者、職場、住居などを共有します。見知らぬ土地で生活するにあたり、そのネットワークが大きな意味をもつのです。

実は全国に先駆けて、三多摩全体では、20 05年からすでに中国人人口が韓国・朝鮮人人 口より多くなっています。働く場所が多い東 京都心に近く、なおかつ家賃などが都心より 安いため、早くから中国人が集まっていたと 考えられます。

ちなみに、福生市は中国人人口の割合が三 多摩で最も高い自治体ですが、外国人人口の 割合も最高になっています。福生と言えば、 米軍の横田基地がありますが、国勢調査人口 に米軍の軍人・軍属とその家族は含まれませ ん。含まないでこれだけ多くの外国人が住ん でおり、国籍も多様です。近年ではベトナム 人やネパール人が増えているなど、様々な国 のネットワークが福生に存在すると考えられ ます。2015年国勢調査の時点での外国人人口 割合が4.3%だったのですが、福生市の発表 では2018年11月1日時点では6.6%まで上昇し ています(データ出典が特にないので、住民 基本台帳と外国人登録のデータから算出した と考えられます)。多くの地域で外国人人口 が増加しているとはいえ、かなりのスピード です。

入管法の改正により、外国人人口の増加と 多様化が進むと考えられます。多文化共生社 会を地域にどう作っていくのか、地方自治の 今後の重要課題です。

表2:2015年 朝鮮人人口割合の多い順(%)

小平市	0. 75
昭島市	0. 38
西東京市	0. 38
武蔵野市	0. 34
東村山市	0. 33

表3:2015年 中国人人口割合の多い順(%)

福生市	0. 78
小平市	0. 72
西東京市	0. 65
小金井市	0. 65
立川市	0. 63

## 表4:国籍別外国人人口の推移(全国)

単位:千人 外国人人口に占める割合(%)

年	外国人 総数	韓国•朝鮮	中国
1920	78	41	24
1940	1304	1241	46
1960	579	516	41
1980	669	558	44
2000	1311	529	253
2015	1752	377	511

韓国•朝鮮	中国
52.2	30.9
95.2	3.5
89.2	7.0
83.4	6.5
40.4	19.3
21.5	29.2

表1:多摩地域における韓国・朝鮮人と中国人の人口

		2015年			2005年		
		外国人人 口合計	韓国•朝 鮮	中国	外国人人 口合計	韓国·朝 鮮	中国
1	八王子市	8,655	1,282	2,403	6,416	1,430	1,898
2	立川市	2,616	508	1,105	2,181	687	856
3	武蔵野市	2,168	499	796	1,671	385	530
4	三鷹市	2,855	580	876	2,239	416	477
5	青梅市	1,416	217	390	1,242	228	205
6	府中市	4,518	734	1,548	3,647	800	1,056
	昭島市	1,974	425	564	1,706	635	464
	調布市	3,014	668	1,047	2,676	882	726
9	町田市	4,851	997	1,848	3,846	926	1,091
10	小金井市	1,867	250	786	1,977	299	530
11	小平市	3,993	1,423	1,365	3,232	1,659	585
12	日野市	2,258	372	775	1,638	381	591
	東村山市	1,985	493	729	1,491	433	304
	国分寺市	1,695	365	719	1,479	318	386
	国立市	1,241	214	382	1,211	277	285
16	福生市	2,503	174	456	1,665	287	288
	狛江市	902	124	275	748	148	166
	東大和市	971	279	358	767	260	146
19	清瀬市	982	150	378	653	156	223
20	東久留米	1,575	225	368	1,044	211	199
21	武蔵村山	1,067	121	328	710	164	161
	多摩市	1,768	341	624	1,536	420	472
	稲城市	970	180	293	820	236	240
	羽村市	1,108	85	174	1,330	146	146
	あきる野	579	87	109	496	131	75
26	西東京市	3,081	757	1,296	2,297	629	619
	瑞穂町	573	55	90	429	36	67
28	日の出町	76	13	13	61	9	11
	檜原村	12	6	-	9	1	-
30	奥多摩町	25	4	6	19	8	3
	三多摩計	61,298	11,628	20,101	49,236	12,598	12,800
	島しょ計	257	78	16	178	56	13
	特別区	322,544	61,783	116,065	198,949	57,823	53,201
	東京都計	384,099	73,489	136,182	248,363	70,477	66,014
	全国	1,775,446	376,954	511,118	1,246,500	415,178	263,625

国勢調査より



## 自治体の人口に占める外国人人口の割合(%)

増減	2 2 2 2 2 2 2		
外国人	韓国•朝		
人口合	鮮	中国	
2,239	<u>△</u> 148	505	
435	Δ 179	249	
497	114	266	
616	164	399	
174	Δ 11	185	
871	△ 66	492	
268	Δ 210	100	
338	△ 214	321	
1,005	71	757	
Δ 110	△ 49	256	
761	△ 236	780	
620	△ 9	184	
494	60	425	
216	47	333	
30	△ 63	97	
838	Δ 113	168	
154	△ 24	109	
204	19	212	
329	Δ 6	155	
531	14	169	
357	△ 43	167	
232	△ 79	152	
150	△ 56	53	
△ 222	Δ 61	28	
83	△ 44	34	
784	128	677	
144	19	23	
15	4	2	
3	5	0	
6	Δ4	3	
12,062	△ 970	7,301	
79	22	3	
123,595	3,960	62,864	
135,736	3,900	70,168	
528,946	△ 38,224	247,493	
JZU,340	<u> </u>	<u> </u>	

а	b	a−b	
2015年	2005年	増減	
1.50	1.15	0.35	
1.48	1.26	0.22	
1.50	1.22	0.28	
1.53	1.26	0.26	
1.03	0.87	0.16	
1.74	1.48	0.25	
1.77	1.55	0.22	
1.32	1.24	0.08	
1.12	0.95	0.17	
1.54	। ।./उ	-0.19	
2.10	1.76	0.34	
1.21	0.93	0.28	
1.32	1.03	0.29	
1.38	1.26	0.12	
1.68	1.67	0.02	
4.29	2.73	1.56	
1.12	0.96	0.17	
1.14	0.97	0.17	
1.31	0.89	0.42	
1.35	0.91	0.45	
1.50	1.07	0.43	
1.21	1.05	0.15	
1.11	1.07	0.03	
1.98	2.35	-0.37	
0.72	0.62	0.09	
1.54	1.21	0.33	
1.71	1.27	0.44	
0.44	0.38	0.05	
0.54	0.31	0.24	
0.48	0.28	0.20	
1.45	1.21	0.24	
0.97	0.62	0.35	
3.48	2.34	1.13	
2.84	1.97	0.87	
1.40	0.98	0.42	